

# 入會申込書

貴會ノ趣旨ニ賛同シ入會申込候也

昭和年月日

福岡縣市村町

## 福岡縣親善會御中

### 福岡縣親善會創立會ニ至る經過

明治維新ノ初御善文ノ宣布アリ次テ四民本等ノ令ヲ發シ給ヒテヨリ星宿茲ニ五十年今尙國民間ニ不合  
理ナル差別象其ノ端ヲ絶ニ至ラサルハ既ニ代ノ恨事ト謂ハザル可カラス  
今ニ賤和ノ盛衰ヲ近ク即位ノ大典ヲ行ヘセラレント斯ニ正ニ舉國一致更ニ尊崇スル爲め之ヲ  
益々重視セラルニ至ルヲ以テ去六月十六日本事業ニ對スル憲志ノ人々二十餘名ニ合合ヲ請メ懇和ニ關  
スル隔意ナキ意見ヲ徵シタリ然ルニ其席ニ於テ會々融和組織ノ必要提倡セラレ論議ノ末ニ創立ヲ可決  
シ即座ニ委員ヲ舉ケ北準備ヨリ着手セリ其後數回ノ委員會ニ重申本月十日ヲ以テ別紙ノ通題宣誓及會則案ヲ  
決定シ愈々創立總會開催スル速ニ達セリ。

### 福岡縣訓令 第十一號(昭和三年六月五日)

市町村役場

昭和三年六月五日

明治維新ノ初御善文ノ宣布アリ次テ四民本等ノ令ヲ發シ給ヒテヨリ星宿茲ニ五十年今尙國民間ニ不合  
理ナル差別象其ノ端ヲ絶ニ至ラサルハ既ニ代ノ恨事ト謂ハザル可カラス  
今ニ賤和ノ盛衰ヲ近ク即位ノ大典ヲ行ヘセラレント斯ニ正ニ舉國一致更ニ尊崇スル爲め之ヲ  
益々重視セラルニ至ルヲ以テ去六月十六日本事業ニ對スル憲志ノ人々二十餘名ニ合合ヲ請メ懇和ニ關  
スル隔意ナキ意見ヲ徵シタリ然ルニ其席ニ於テ會々融和組織ノ必要提倡セラレ論議ノ末ニ創立ヲ可決  
シ即座ニ委員ヲ舉ケ北準備ヨリ着手セリ其後數回ノ委員會ニ重申本月十日ヲ以テ別紙ノ通題宣誓及會則案ヲ  
決定シ愈々創立總會開催スル速ニ達セリ。

### 創立趣意書

長クモ 明治天皇ハ天下一人ニテモ其ノ所ヲ得サルモノアレハ是即チ朕力罪ナリトノ大御心ヲ懷カセラレ  
御即位元年ニハ五ヶ條ノ御善文ニ舊來ノ偏私ノ隔離ヲ破り大業ノ公道ニ基クヘキ旨ヲ宣明シ給ヒト四年ニハ四  
民平等ノ大義ヲ公布シ給ヘリ爾來六十年此間國運發展ニ伴ヒ而道目ヲ改メ昔ノ如キ態ヲ留メストイ  
ヘトモ獨一無二對スル因襲的差別觀念存有アルアリテ懲和ノ實ヲ學得サルコトハ人道上ノ一大懶事  
ニシテ御旨ニ對シ奉リテモ沟ニ恐懼ニ掛エサル所ナリ  
今ヤ内外ニ情勢ハ国民ノ和協同ニリ國運ノ發展ノ期スベキ時ニシテ徒ニ兄弟情誼ヲ闊タヘキ時ニアラス  
況ニ我國ハ英義ニ平和會議ニ於テ人道上ヨリ人種差別懲役ノ提議シタル國ナリ如斯世界ニ對シテ人種平等  
ヲ絶叫セル國民カ内於テ一部同胞ヲ差別スルカ如キハ實ニ矛盾モ甚シト謂フヘシ  
吾人深クモニ推移ト英ニ平和會議、田植式ノ吉日ヲ持テ大典ノ開催ヲ謀ニテ萬民共同ノ實務  
記念事業トシテ福岡縣親善會ヲ組織シニ致協力ニヨツチ舊來ノ隔離タル差別  
の偏見ノ打破ニ努メ互ニ相専リ相扶ケテ共存共榮實ヲ學ケンコトヲ期ス冀クハ同感有志ノ士吾人ノ微衷  
ヲ諒トシ奮ツテ本會ノ趣旨ニ賛同セラレ直接開設援助アランコトヲ

- 一、社會生活ニ於テ機會均等ノ實ヲ舉タルコト
- 念フニ差別ノ事タル修理ニ付人道ニ反スニ違矣之ヲ芟除ニ努メ國運ノ進展ヲ圖ルコトハ我國民共同ノ責務  
タリ各務ハ克タ此意ヲ體シ更ニ有効適切ナル施設ヲ講シ共存共榮ノ成果ヲ收ムニテ萬選民ナカラムコ  
トヲ望ム
- 一、國民ノ自覺ヲ促シ擁護観念徹底ヲ圖ルコト
- 一、融和ノ精神タルヘキ事象ニ連々之を除斥スルコト
- 一、差別ノ實動ハ嚴ニ之ヲ爲シメタルコト
- 一、社會生活ニ於テ機會均等ノ實ヲ舉タルコト

- 第一條 本會ノ名稱は福岡縣親善會ト定ス
- 第二條 第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ  
「特別會員 一時ニ金貯拾五圓以上ヲ寄附シタルモノ」
- 第三條 本會ハ各都市ニ支部ヲ置クコトヲ得
- 第四條 本會ハ同胞融和ノ實ヲ舉クルヲ以テ目的トス
- 第五條 本會ハ前條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ  
一、融和促進上必要な目的調査研究  
二、印刷物ノ刊行  
三、其他必要ト認メタル事項

員トス

### 福岡縣親善會各則

- 第一條 本會ノ名稱は福岡縣親善會ト定ス
- 第二條 第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ  
「金貯百圓」
- 第三條 本會ハ各都市ニ支部ヲ置クコトヲ得
- 第四條 本會ハ前條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ  
一、融和促進上必要な目的調査研究  
二、印刷物ノ刊行  
三、其他必要ト認メタル事項

員トス

### 福岡縣親善會各則變更

昭和五年七月五日

- 第一條 本會ハ福岡縣親善會ト定ス
- 第二條 第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ  
「事故アルトキハ其職務ヲ代理ス
- 第三條 本會ハ各都市ニ支部ヲ置クコトヲ得
- 第四條 本會ハ前條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ  
一、融和促進上必要な目的調査研究  
二、印刷物ノ刊行  
三、其他必要ト認メタル事項

員トス

- 第一條 本會ハ理事會ヲ組織シ算定其重要會務ヲ執行ス
- 第二條 本會ハ每年四月一日より始マリ翌年三月三十一日終
- 第三條 本會ハ毎年年始開會ノ後算定其重要會務ヲ執行ス
- 第四條 本會ハ各市町村長其他若干名ヲ置キ會長之ヲ監督又ハ任免ス
- 第五條 本會ハ各市町村長其他若干名ヲ置キ會長之ヲ監督又ハ任免ス
- 第六條 本會ハ每年年始開會ノ後算定其重要會務ヲ執行ス
- 第七條 本會ハ各市町村長其他若干名ヲ置キ會長之ヲ監督又ハ任免ス
- 第八條 本會ハ各市町村長其他若干名ヲ置キ會長之ヲ監督又ハ任免ス
- 第九條 本會ハ各市町村長其他若干名ヲ置キ會長之ヲ監督又ハ任免ス
- 第十條 本會ハ各市町村長其他若干名ヲ置キ會長之ヲ監督又ハ任免ス
- 第十一條 本會ハ每年年始開會ノ後算定其重要會務ヲ執行ス
- 第十二條 本會ハ每年年始開會ノ後算定其重要會務ヲ執行ス
- 第十三條 本會ハ每年年始開會ノ後算定其重要會務ヲ執行ス
- 第十四條 本會ハ每年年始開會ノ後算定其重要會務ヲ執行ス
- 第十五條 本會ハ每年年始開會ノ後算定其重要會務ヲ執行ス
- 第十六條 本會ハ每年年始開會ノ後算定其重要會務ヲ執行ス
- 前項ノ改廢ハ理事會三分ノ一以上出席スルニアラレハ之を行フコトヲ得ス
- 前項ノ改廢ハ理事會三分ノ一以上出席スルニアラレハ之を行フコトヲ得ス